

Game Report

開催場所：玉名市総合体育館

試合区分：第 22 回全九州大学春季バスケットボール選手権大会 男子準決勝

試合期日：2017 年 5 月 20 日(土)

試合時間：13:20～

主審：山口 憲昭

副審：松本 将司

福岡大学	80 ○	15	—1st—	16	65 ●	鹿屋体育大学
		20	—2nd—	15		
		23	—3rd—	20		
		22	—4th—	14		

第 1 ピリオド

福岡大 #6 松尾のシュートで試合の幕が開ける。対する鹿体大も #21 池浦がローポストからの 1 対 1 で決め返す。その後、福岡大は #6 松尾、鹿体大は #43 横川を中心に、両チーム点を取り合う。終了間際、鹿体大は右サイドにスペースを作り、途中出場の #0 池田が 1 対 1 からシュートを沈める。すると、すぐさま福岡大も途中出場の #17 丹がシュートを決め返す。15-16、鹿体大が 1 点をリードし、第 1 ピリオド終了。

第 2 ピリオド

第 2 ピリオド、流れを掴んだのは鹿体大。#21 池浦、#12 川尻がインサイドで連続得点を決める。離されたくない福岡大は残り 8:41、タイムアウトを請求。これが功を奏し、#6 松尾のセカンドチャンス、#13 夏井のレイアップシュートで福岡大が連続得点を決める。波に乗った福岡大は、#77 川上、#14 村上のシュートも決まり、鹿体大を突き離しにかかる。終盤、鹿体大は #11 安恒の 3P シュートが決まるも、福岡大 #19 濱田がブザービーターを決め返す。35-31、福岡大が 4 点をリードし、前半を終える。

第 3 ピリオド

前半の勢いそのままに、序盤から福岡大がペースを掴む。#30 太田、#13 夏井がドライブで切れ込み、鹿体大のディフェンスを崩していく。中盤、流れを渡したくない鹿体大はゾーンディフェンスを仕掛ける。リバウンドから早い展開へ持ち込みたい鹿体大だが、得点に繋げることが出来ない。終了間際、鹿体大は #43 横川の 3P シュート、#21 池浦のブザービーターが決まるも、差は縮まらず、58-51 と福岡大リードで第 3 ピリオド終了。

第 4 ピリオド

序盤、試合のペースは福岡大。#6 松尾、#14 村上がインサイドで得点を重ね、試合を決めにかかる。追いつきたい鹿体大は、#12 川尻にボールを集め、インサイドを中心に攻める。しかし、福岡大のオフェンスの勢いは止まらず、#77 川上の 3P シュート、#13 夏井のレイアップシュートが次々と決まる。鹿体大は最後まで果敢にシュートを狙うも点差は縮まらず、80-65 で福岡大が決勝戦へと駒を進めた。